

ペンロン Prima450 操作手順

- ① 最初に耐圧管を接続。(酸素の供給が確認出来れば、赤から緑に変色)



- ② 麻酔器本体の電源スイッチを OFF → ON。(ベンチレーターが起動)



- ③ デイスプレイの画面右側の表示

「SITE DEFAULTS・ADULT DEFAULTS・PAEDIATRIC DEFAULTS」

現場規定値

大人設定値

小児設定値



- ④ SITE DEFAULTS をタッチ OR ダイヤルで選択。



- ⑤ 呼吸器設定画面になり「STANDBY:」状態を確認。



- ⑥ 呼吸モード

STANDBY (ベンチレーターは待機状態)

* 〔切り替えコックはバッグ側時に使用〕

SPONT 自発モード

計測パラメーターは黄色の値で表示 (一回換気量、I:E 比、呼吸回数を表示)

* 〔切り替えコックはベローズ側時に使用〕

VOLUME 従量式換気 (設定された量を設定回数分、送気する。)

モードで使用されるアクティブパラメーターが青色背景に白文字で表示
一回換気量、呼吸回数、I:E 比、PEEP、リミット圧 (高圧アラーム設定値)
が変更可能

計測パラメーターが黄色で表示 (一回換気量、最高圧、平均圧)

PRESS 従圧式換気 (設定された吸気時間内、肺に圧をかける)

モードで使用されるアクティブパラメーターが青色背景に白文字で表示
呼吸回数、I:E 比、PEEP、ターゲット圧 (設定圧) が変更可能

計測パラメーターが黄色で表示 (一回換気量、最高圧、平均圧)

PSV プレッシャーサポート（自発呼吸に合わせて、予め設定した圧まで吸気を補助する）

モードで使用されるアクティブパラメーターが青色背景に白文字で表示
吸気時間、サポート圧、トリガー感度（設定数値が低いほど感度が増す）
が変更可能

計測パラメーターが黄色で表示（一回換気量、最高圧、平均圧）

* 待機時間内（15 秒）に自発呼吸が拾えない場合、警報が鳴ります。

（APNOEA ALARM）

SIMV 設定された換気回数分を強制換気し、それ以上は自発換気を行う

モードで使用されるアクティブパラメーターが青色背景に白文字で表示
一回換気量、呼吸回数、吸気時間、リミット圧（高圧アラーム設定値）、
トリガー感度が変更可能

計測パラメーターが黄色で表示（一回換気量、呼吸回数、最高圧、平均圧）

SMMV 自発呼吸に同期した強制換気量と合わせて、設定された分時換気量を与える

モードで使用されるアクティブパラメーターが青色背景に白文字で表示
分時換気量、呼吸回数、吸気時間、リミット圧（高圧アラーム設定値）、
トリガー感度が変更可能

計測パラメーターが黄色で表示（分時換気量、呼吸回数、最高圧、平均圧）

* 設定の変更に合わせて自動でアラーム設定値が変更されます。

↓

- ⑦ 手術終了後は、麻酔器本体のスイッチを OFF にする。ベンチレーターの終了をタッチ OR ダイヤルで選択。耐圧管を抜き、酸素フラッシュボタンで圧を抜いてください。（供給圧が抜け切り、緑から赤に変色）